

2025年2月吉日

---

卒論修論発表会用スライドサンプル  
—副題がある場合はこんな具合に—

---

学籍番号 氏名 高橋

# 研究背景

---

まず研究背景を述べる。

大事な部分は色を変えてみる。

slide ではデフォルトのフォントがゴシックになってしまうので、太字 `\textbf` が効かない。

下線を引くのもいいかも。

下線を引くのもいいかも。

枠で囲むのもいいかも。

# 研究目的

---

次に自身の卒論の**研究目的**を書く。

行間が詰まり気味なので、意識的に空ける場合は  
`\vspace{1zh}` などと書いてみる。

特にこんなことをやる。

文章の一部に枠 をつける例。

# 式は通常どおり L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 表記で

---

スライドでは数式番号はつけない。

(スライドで発表中に式番号で引用することはしない。)

$$ds^2 = g_{\mu\nu} dx^\mu dx^\nu$$

$$t' = \frac{t - Vx}{\sqrt{1 - V^2}}$$

$$x' = \frac{x - Vt}{\sqrt{1 - V^2}}$$

# 図の挿入

---

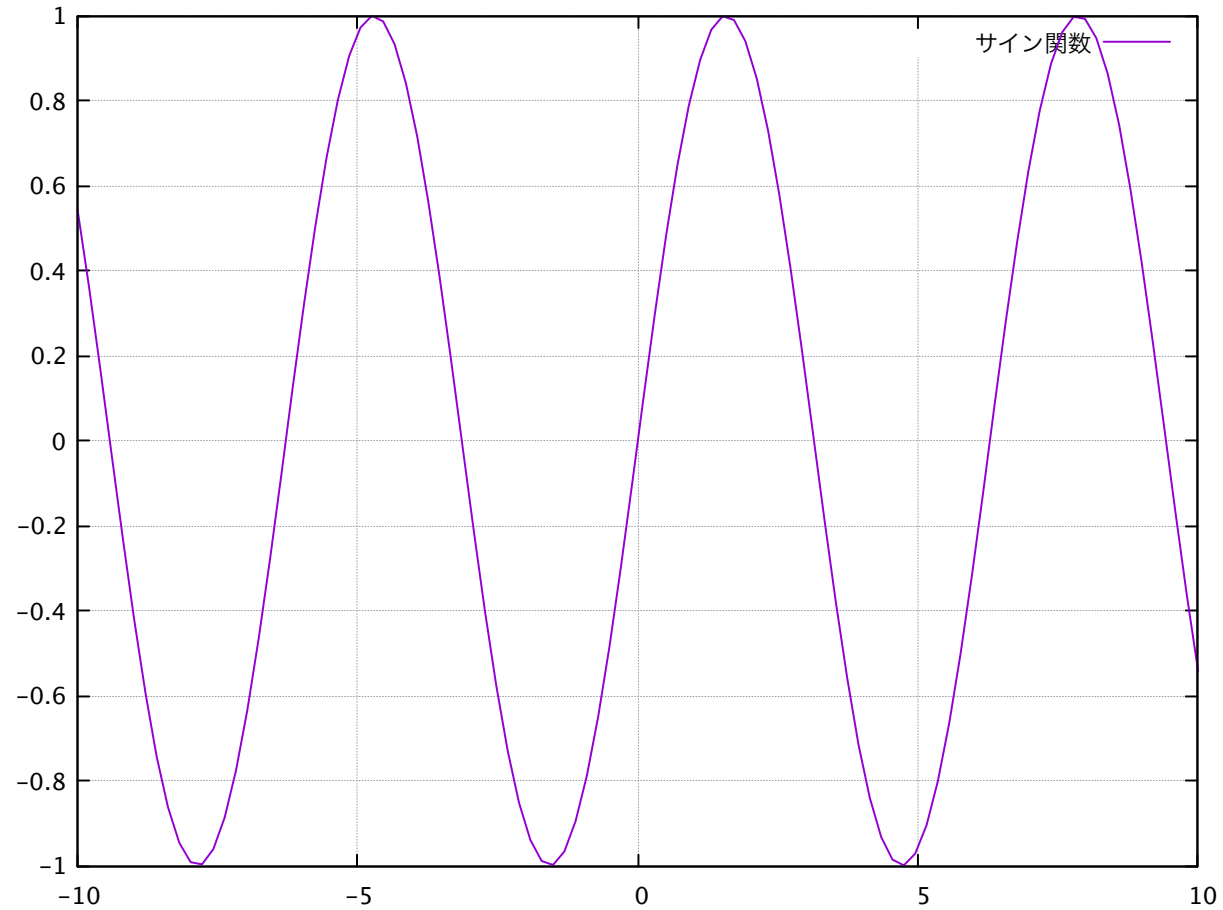


図1 サイン関数のグラフ

# 結論

---

以下のことがわかった。

- こんなことや...

# 結論

---

以下のことがわかった。

- こんなことや...
- あんなことや...

# 結論

---

以下のことがわかった。

- こんなことや...
- あんなことや...
- そんなことまで。



# 今後の展望

---

本研究ではここまでやった。

今後の展望としては，こんなことにも取り組んでみたい。

# 質問があった場合に...

---

前ページ「今後の展望」のスライドで発表は終わりだが、

質問があった場合に

(想定される質問に対して準備できる場合は)

使うかもしれないスライドを

最後のほうに予め仕込んでおく、という高度なテクニックも

ある。